

美々津中学校便り



7月号

文責：鈴木利明（校長）

1学期が終了しました。4月は、コロナの影響で学校の行事が中止になりました。それでも、感染対策をしながら行事を進め、充実した1学期になったのではないのでしょうか。

7月2日（金）に生活委員会が中心となり、「やさしい言葉の花」を全校生徒で作りました。（裏面参照）

私の教え子で、小学校の教諭をしている女性がいます。この教諭と偶然、彼女の勤務する小学校で会いました。その時、私から中学校の時に教えてもらった言葉を覚えていて、その話をしてくれました。それは、次の言葉でした。

「人の悪口を言うのは止めよう。なぜなら、一番近くで聞いているのは、自分の耳だから」

という内容でした。この言葉を中学生の時に聞いて、今でも覚えていると言っていました。とても、印象に残っていたそうです。これは、星野富弘さんの作品

『くちなし』の詩で、正確には、

「鏡に映る顔を見ながら思った もう悪口をいうのはやめよう 私の口から出たことばを いちばん近くで聞くのは 私の耳なのだから」

です。この時、言葉は生きていたんだなと感じました。言葉は、言の葉と書きます。葉っぱが元気でなければ、植物は育ちません。きれいな花も美味しい果実もできません。そして、葉っぱや茎を支えているのが根っこです。植物の根は、地下に根を張り、そこから栄養分を吸収します。根っこは、人に例えると心だと思っています。心は見えませんが、心がぶれてしまうと支えることができなくなります。だから、心に栄養を吸収させなければなりません。その栄養のことを「思いやり」と言います。思いやりの根っこがしっかりしていれば、葉っぱだって元気になり沢山の光を浴びて成長していきます。その光となるのが、「ありがとう」「素敵」「うれしい」と言った明元素の言葉（学校通信5月号に掲載）です。きれいな花畑を想像してみてください。きれいな花畑は、一人一人の行動、つまりお互いが、この明元素の言葉を、言ったり言われたりしながら、日々の生活を楽しむことで素敵な花畑を作ることができます。「やさしい言葉の花」は、そんな気持ちが込められた花なのではないのでしょうか。

今から、10年前に東日本大震災を受けて、CMでこの詩が流れました。

「遊ぼう」というと 「遊ぼう」という。 「馬鹿」というと 「馬鹿」という。

「もう遊ばない」というと 「もう遊ばない」という。

そして、あとで さみしくなって、「ごめんね」というと 「ごめんね」という。

こだまでしょうか、 いいえ、誰でも。

金子みすゞさんの「こだまでしょうか」という詩です。このCM制作担当者はホームページの中で、「たった一言で、人は傷つく。たった一言で、人は微笑む。自分がやさしく話しかければ、きっと相手も、おだやかに答えを返してくれる。ことばは、人から人へ『こだま』します。この広告が、人と人のやさしい会話のきっかけになることを願いに込めました」

と語っています。言葉って、とても大事です。嫌な言葉や悪口を聞くのは、誰でもいい気持ちはしないはずですが、言葉は、大きな力を持っています。だからこそ、誰が聞いても笑顔になる、人を元気付けたり、勇気付けたりする。そんな言葉を日頃から使えるように訓練することも大事です。将来の宝物になります。

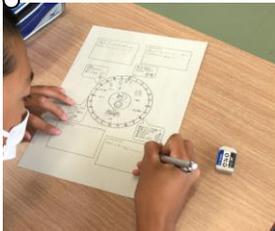


「やさしい言葉の花」を咲かせよう！



生徒会の生活委員会が中心になって、「やさしい言葉の花」を作成しました。日頃から、何気なく使っている言葉をやさしい言葉にして使うことで、全校生徒が楽しく学校生活を送れることを目指しています。大切なことは、口に出すということです。いつもやさしい言葉を言うことで、思いやりや感謝にも繋がります。自分達の力で素敵な学校を作りましょう。

食育指導



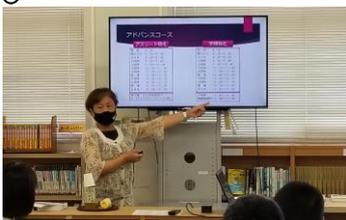
学校給食センターの栄養士である後藤貴美先生に来校していただき、食についての指導をしていただきました。「食」という字は、人が良くなるとも、良いものが入っていくとも書きます。つまり、人の体に入ってくる物ですから、体に良いものをバランス良く食べることが大切になります。もちろん、良く噛んで食べることも大切です。

国際社会の理解とSDGs (富山隆志氏講演)



富山さんは、日向市キャリア教育支援センターに勤務されており、日頃から、国際社会やSDGsに係わっている方です。実施に外国に行って、発展途上国で撮った写真を見ました。一人一人が本気になって考えたか、行動したかの答えは、2030年にやってきます。SDGsの主役は自分自身ですからね。

私立高校説明会



「延岡学園高等学校」

「日章学園高等学校」

「聖心ウルスラ学園高等学校」「宮崎日本大学高等学校」

本年度も4校の私立高校の先生に来校していただき、学校の説明をしていただきました。各高校には、特色があります。進学するしないに係わらず、興味関心をもち、情報を得ることがまずは大切です。